

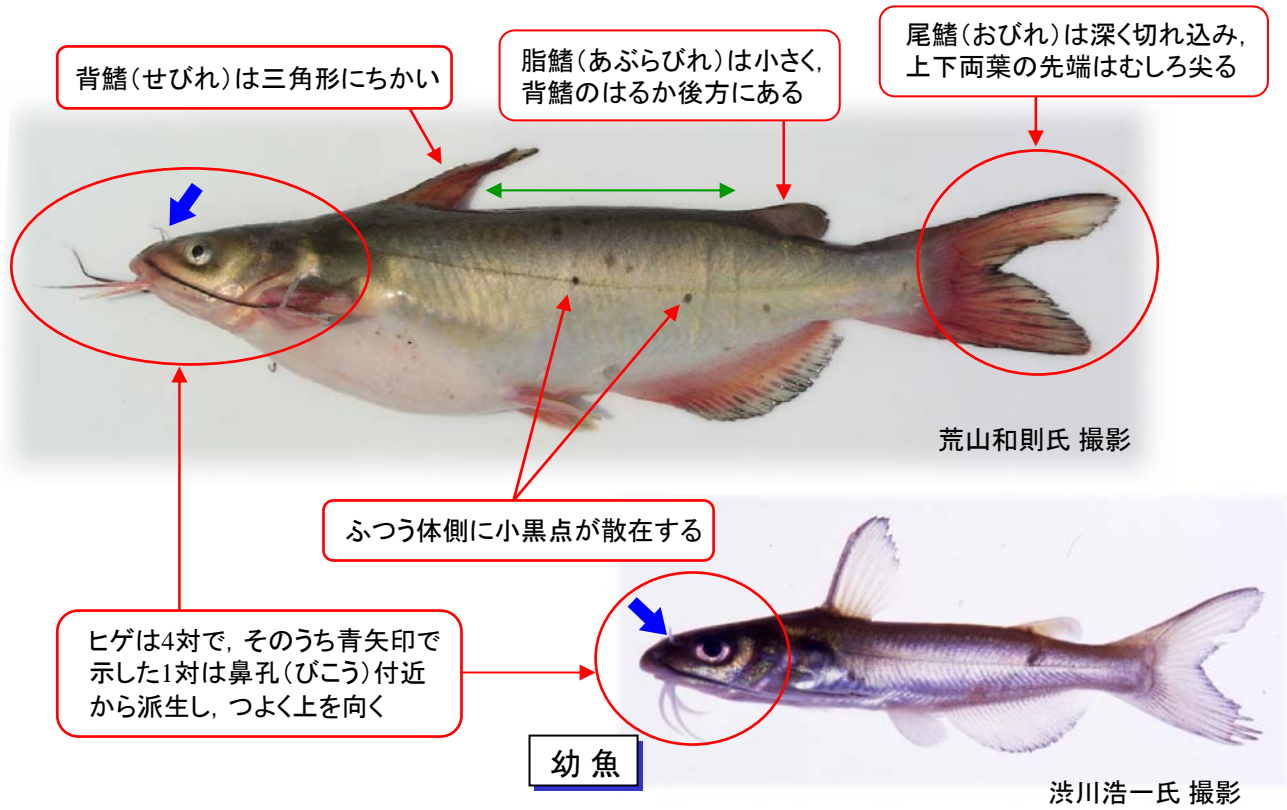
チャネルキャットフィッシュ

分類: ナマズ目 アメリカナマズ科

学名: *Ictalurus punctatus* (Rafinesque, 1818)
英名: Channel catfish
和名: チャネルキャットフィッシュ
別名・流通名: アメリカナマズ, チャネルキャット, チャネルキャットフィッシュ(あるいはチャネルキャット), カワフグ, シミズダイ
原産地と分布: 原産地は北アメリカ(メキシコ北部～アメリカ合衆国およびカナダ南部)。現在では、日本を含む世界各地に移植されている。

未判定外来生物: アメリカナマズ科の2属(チャネルキャットフィッシュを除く *Ictalurus* および *Ameiurus*)
種類名証明書添付生物: なし。

形態的特徴: 背鰭(せびれ)は三角形にちかい形をしており、そのはるか後方に小さな脂鰭(あぶらびれ)がある。尾鰭(おびれ)は深く切れ込み、上下両葉の先端はむしろ尖る。頭部に4対のヒゲがある;そのうちの1対は鼻孔(びこう)付近から派生し、強く上を向く。体の背側は暗灰色で、腹方に向かうにつれ黄みあるいは青みがかった淡灰色となる。腹部は白色。ふつう体側に小黑点がまばらに散在する。大型個体ではふつう体色が黒ずみ、斑点も不明瞭となる。最大で全長1.3 m程度まで成長する。



特記事項: 利根川水系に定着しているが、外来生物法により生きたままの個体の運搬、保管、飼養が原則的に禁止されているため、捕獲時には適正に取り扱わなくてはならない。霞ヶ浦などの生息地においては、これ以上の分布拡大の防止に努めるとともに、必要に応じて被害の低減等の対策を講じることが望まれる。なお、これまで観賞魚としても一部で流通していたが、今後は無許可での飼養は法令違反の対象となる。